



山形城史跡を巡る



山形城は、安土桃山時代の文禄年間(1593年～)のはじめ、当時の山形の領主最上義光によって、全国有数の平城として整備されました。現在、二ノ丸区場内(霞城公園)及び三ノ丸の一部が史跡となっているほかは、山形城三ノ丸の面影を残す箇所はわずかとなっています。史跡を巡り、山形城に思いを馳せます。



やまがたじょうきたもん
1 山形城北門

みつばち公園
2 みつばち公園
山形城三ノ丸堀
山形城の三ノ丸堀の跡に造られた公園。公園内には堀の名残の段差が見られます。



れきし
3 歴史の道

山形城三ノ丸外堀沿いの古道です。



さいべいなりだいまうじん
4 財部稲荷大明神

山形城郭外十一口の三ノ丸の要地小田口土堤の内側西方に鎮座していた社です。火の神を祀り、聖火の下、食住の平安を守護する霊験顯著な社です。



きゅうちようめいひようじ
7 旧町名標示柱
(旧香澄町字六十里越)

山形城三ノ丸内南方で、出羽三山の参詣者などが通る六十里越街道の起点となったところです。



ことほいなり じんじゃ
6 壽稲荷神社

最上義光公時代に城外の稲荷塚にあったが、城主鳥居忠政公が山形城の鎮護の神として城内稲荷口の現在の地に移したものです。



れいせき いし ひ
8 霊石よなき石(碑)

この地に言い伝えられていた石塔を「霊石よなき石」として祀っています。



じょうなんばしこうえん
9 城南橋公園

高架下に、健康器具が2種類あります。



やまがたじょうさん まるいごうあと
5 山形城三ノ丸塁壕跡
(稲荷口付近)

昭和48年までは水を湛えた壕が残っていました。この由緒ある旧跡を遺すため、その形状を生かした公園として整備したものです。



きゅうちようめいひようじ
10 旧町名標示柱
(旧香澄町字南追手前)

旧香澄町字南追手前は、山形城三ノ丸南追手門(のちに南大手といわれた)の前に当たっていたところです。



山形城北門 ゴール

※所要時間は時速4km、消費カロリーはウォーキング10分=30kcal、歩数は1歩=70cmで算出しています。※成人男女の平均体重(60kg)を基準に算出。歩数は歩く人の歩幅によって変動しますので、目安としてご利用ください。